

将棋で考える人事労務

☆ 参加お申込みは、office.jbs@gmail.com へ！ 懇親会の出欠も必ずご連絡ください ☆

皆さんは『将棋』という日本のゲームをご存知でしょうか？

「そんな子供の遊び」
 「プロがやるもの」
 「昭和の縁側」

など、いろいろなイメージがあると思います。

そんな将棋ですが、実は戦国武将も研究していたそうです。毎年、山形県天童市で開催される人間将棋は、豊臣秀吉が伏見城で小姓や腰元らを将棋の駒に見立てて将棋を指していたという故事になった行事です。

なぜ将棋を？

それは戦国時代を勝ち抜くため！だと思われまます。

たかが将棋、されど将棋・・・現代のビジネス社会、法律社会にも役に立ちそうな気がしませんか？



次の一手はこれだ！

【セミナー】

- ・日時：9月27日（金）19時～21時
- ・料金：JBS会員：無料 / ビジター：2,000円
- ・会場：東京都港区新橋1-17-2 第二光和ビル地下2階『新橋フォーラム』

【懇親会】

- ・日時：セミナー終了後 21時～23時
- ・料金：4,000円（JBS会員／ビジター）
- ・会場：東京都港区新橋2-14-3 新橋レンガ通り会館1F『ローズ&クラウン』 <http://r.gnavi.co.jp/g068230/>

今回のセミナーでは、将棋の駒を実際に動かして人事労務のポイントをわかりやすくお伝えします。駒の動かし方や将棋のルールがわからなくても、駒の動きを見ながらイメージをつかんでいただくことができます。

<主なテーマ>

- ・穴熊の社員、裸の社長 ⇒ 労働法と労働保険
- ・はじめの一步 ⇒ 労働条件の通知
- ・三手の読み ⇒ 相手は思いどおりに動いてくれない
- ・歩のない将棋は負け将棋 ⇒ 人材育成
- ・駒の使い方 ⇒ 適材適所
- ・将棋盤の裏側 ⇒ 人事の心構え

など

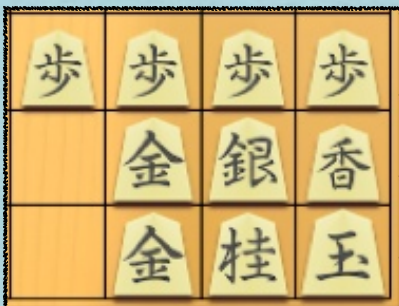
<講師>

ヒューマンレジャーサポートオフィス

特定社会保険労務士 山岡 洋秋

東北電力株式会社にて、営業・総務・人事・労務に約20年間携わり、より専門性を身に付けたいとの思いから一念発起し、社会保険労務士資格を取得。

その後には社会保険労務士事務所で大企業への労務顧問を担当し、平成20年7月に現事務所を設立。現在は『将棋で人事労務』を伝える活動を展開中。



穴熊囲いは最強の守りだが、社長は？



「歩」はいつまでも「歩」ではない！



将棋盤の裏側と人事の関係とは？